

情報活用能力育成のための指導事例【高等学校 第1学年 家庭（家庭総合）】

単元・題材名	食生活 生活の自立及び消費と環境 食事と健康	指導時間（本時）	14/15
本時の目標	教科・科目	・ 各年代で、どれだけの食品を食べればよいかを理解し、1日の献立を立てることができる。	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <p>■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検索したい情報に関連するキーワードの組合せを幾つか用意し、その適合性を判断する。（モA21-4-030） ・ 自分の課題を意識して関連情報を収集する。（モA51a5-020） ・ 自分の立てた予想や仮説と比べながら集めた情報を整理・分析する。（モA51b5-040） 	
活用する主なICT機器等	<p>■コンピュータ ■プロジェクタ</p> <p>■ソフトウェア（表計算、プレゼンテーション、Web上の専用のソフト）</p>		
本時の概要	<p>バランスのよい1日の献立を考えさせ、インターネットで検索し、レシピを決定させる。四食品群別摂取量のめやすの合計とカロリー計算を表計算ソフトやWebページの専用ソフトを用いて行わせる。</p>		
本時の流れ	主な学習活動	ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)	
	導入	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p>	○ プレゼンテーションソフトを活用し、インターネットの検索方法について説明する。(AND検索, OR検索, NOT検索)
	展開	<p>3 1日の食事摂取基準を満たす四食品群別摂取量めやす別の献立を完成させる。</p>	<p>◎ インターネットを活用させ、献立を考えさせる。</p> <p>◎ 表計算ソフトを活用させ、四食品群別摂取量めやすの合計とカロリーについて計算させる。(カロリー計算はWebページ内の専用ソフトを使用してもよい)</p> <p>◎ 表計算ソフトで作成したデータを校内サーバに保存させるとともに、印刷により提出させる。</p>
	終末	<p>4 本時のまとめをする。</p>	
使用した教材・資料（コンテンツ）	<p>○名称・出典・内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自作教材（プレゼンテーションソフト、表計算ソフト） <p>＜内容＞インターネットでの検索方法やブラウザの活用について確認させるためのプレゼンテーションソフトを活用した教材と、教科書の例を参考に表計算ソフトで作成した、四食品群別摂取量めやすの合計とカロリーについて計算させる教材である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単！栄養andカロリー計算 <p>＜内容＞栄養素とカロリーの過不足を計算することができるWebサイトである。何を食べるべきか、何を減らすべきかなどが分かり、栄養とカロリーのバランスのよい食事を考えることができる。</p>		
ICT活用の指導上のポイント	<p>・ 生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する活動で、課題や目的に応じて表計算ソフトなどを利用してシミュレーションを行うことができるようにする。</p>		
備考	○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の[実践]力」→ [実践], 「情報の科学的な[理解]」→ [理解], 「情報社会に参画する[態度]」→ [態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号